

一般質問

一般質問
廣井 一隆
(新星檜原)

新沢千塚周辺公園拠点施設と歴史に憩う檜原市博物館の連携

問 本年4月24日に新沢千塚周辺公園拠点施設がオープンするが、歴史に憩う檜原市博物館とは距離も近いので合同企画などができないか。
答 両施設の連携は重要と考えており、28年度に両施設にアクセスできる立体駐車場を整備予定である。博物館では講演会や体験講座を実施しているが、拠点施設内の研修室等での実施も考えており、拠点施設利用者にも興味を持って参加いただける内容にしていきたい。この他にも色々な企画に取り組んでいきたい。

定例会では、提案された諸議案に関係なく、議員自身が議長に通告し、市長及び関係理事者に質問する日(一般質問日)を設けています。今定例会は、3月22日、23日に11人の議員が活発な質問を展開しました。ここにその一部を掲載します。詳細は、市議会ホームページでご覧いただけますので、是非ご活用ください。



シルクの杜

問 古墳群でレプリカの土器拾い体験や中央公民館分館の陶芸用の窯で土器や埴輪づくりを体験し、博物館で展示することはできるか。
答 博物館では子どもたちを対象に複数の体験学習メニューがある。土器・埴輪づくりは体験学習として非常におもしろく、博物館で展示することで子どもたちが文化財や郷土の歴史に一層興味を持てると思うので、検討したい。

会派名簿

公明党 (4名)
大北かずすけ・亀甲義明
森下みや子・成谷文彦
日本共産党 (2名)
竹森 衛・西川正克
至誠会 (2名)
小川和俊・奥田 寛

政志会 (2名)
たけだやすひこ・松木雅徳
自由民主党 (2名)
細川佳秀・奥田英人
新星檜原 (4名)
宇佐美孝二・廣井一隆
大保由香子・田中かずとも

いずれの会派にも所属しない議員 (8名)
杉井康夫・竹田きよし
榎本利明・高橋圭一
河合 正・榎尾幸雄
松尾高英・水本ひでこ
(平成28年3月22日現在)

問 拠点施設や博物館の広報活動とその体制は。
答 拠点施設の愛称を募集し、応募総数229件の中から「シルクの杜」に決定した。また市の広報4月号に4ページの記事を掲載する予定。3月26日のプレオープンでは約1,000名の方を招待し、またグラントオープン後の4月24日午後には市内60歳以上の方々に無料で利用いただき、広く周知してもらいたいと考えている。拠点施設はスポーツ推進課が、県道南側の集客施設は産業振興課が管理運営を行い、いずれの施設も魅力を含めて十分な連携を図り、新沢千塚周辺全体での広報活動、利用促進に努めたい。なお新沢千塚古墳群公園の一部が都市計画公園として都市計画決定されており、また文化

財保護法における史跡にも指定されていることから、公園管理部門や文化財部門との連携も必要となるが、今後各施設の管理運営について一元化を図っていききたい。

新沢千塚周辺公園南側と一町配水場周辺の土地利用

問 一町配水場周辺の水道用地としての公社用地について、利用できない残地が出た場合の活用を何か考えているか。
答 この公社用地は全体で約2万4,000㎡あり、買い戻し費用を28年度予算に計上している。28年度から配水池の新設改修工事をするにあたり、配水タンク後方斜面から南側一連の山の斜面部分を買戻す予定である。その後配水場の建物の東側についても、後年に災害時の給水車の拠点

地として市民の方々が入っているが、タケノコや山菜などに関連した残地の活用は考えられないか。また一町配水場周辺には500号古墳など考古学的に価値のある古墳もあり、県道も近くにあるので新沢千塚古墳群と同じ公園としてあるいは関連施設として整備する方法はないか。配水場の裏手から西側の景観がすごくよいので、展望台があれば新しい観光施設になると思うが。
答 タケノコが自生しているので入っている人がいることは聞いています。タケノコや山菜とり以外にも含め、千塚公園と関連づけた整備についても